

「あ～したてんきにな～れ☀️」

ねらい: 梅雨の季節に触れ元気に楽しく過ごす。

対象児: 3歳児 ゆり組

作成者: 山川可純

作成日: 2020.6.25

わたしのあつたよ～♪



みずたまりかいたよ

保育の振り返り

「お～やまにあ～めがふりました～あとからあとからふってきて...」「でんでんむしむしかたつむり～」お部屋では季節にちなんだ歌を歌っています。子ども達はいつも元気いっぱいの歌声を聞かせてくれます♪また雨が降った日には、てるてる坊主や折り紙でカタツムリを作ったりと梅雨の季節ならではの活動を楽しみました。

てるてる坊主づくりでは、「てるてるぼうずってなに？」と興味津々の子どもたち。「てるてる坊主を吊ると、晴れてくれるんだよ」と子ども達に伝えると、お花紙をたくさん袋に入れカラフルで可愛らしいてるてる坊主が完成しました。「はれてくれるといいね」「みずあそびしたいね」と自分で作ったてるてる坊主を見つけ、保育者や友達と一緒にやり取りを楽しみました。(健康な心と体)(言葉による伝え合い)

(自然との関わり)

折り紙で折ったカタツムリには周りに絵を描きました。カタツムリは雨が好きなことを絵本で知ったり、外はたくさん雨が降っていたこともあり、外の雨のようにたくさん雨を降らしてみたりと一人ひとり雨の形も様々で自由に表現することを楽しみました。(自然との関わり)

(豊かな感性と表現)

身近な自然に触れることで気づくことや感じること発見することがたくさんあるので、これからの保育の中でもたくさん自然に触れ、楽しく過ごしていきたいと思えます。